

CloudCenter 4.8.2のPostgresのトラブルシューティング

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[Postgresを手動で起動するコマンドは何ですか。](#)

[Postgresログはどこにありますか。](#)

[Postgres設定はどこに保存されますか。](#)

[コンフィギュレーションウィザードを実行するときに、CCM IPではなくCCM DNS名を入力するにはどうすればよいですか。](#)

概要

このドキュメントでは、CloudCenter 4.8.2でPostgresの問題をトラブルシューティングするために使用できるコマンドとファイルの場所について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、CloudCenter 4.8.2に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

Postgresを手動で起動するコマンドは何ですか。

```
systemctl start postgres-9.6
```

このコマンドは、サービスを停止または再起動するために変更できます。また、Postgresが正しく起動できるかどうかを判断するのに役立ちます。出力の読み取りを開始すると、より詳細なエラーメッセージが頻繁に表示されます

Postgresログはどこにありますか。

postgresサービスのログは、他のCloudCenterログと一緒に保存されるのではなく、`/var/lib/pgsql/9.6/data/pg_log/`フォルダに保存されます。

Postgres設定はどこに保存されますか。

`/var/lib/pgsql/9.6/data/pg_hba.conf`は、ccm config wizardによって変更されたファイルの1つです。

コンフィギュレーションウィザードを実行するときに、CCM IPではなくCCM DNS名を入力するにはどうすればよいですか。

設定ウィザードでCCM DNS名を入力します。`/var/lib/pgsql/9.6/data/pg_hba.conf`に移動すると、DNS名の後に「/32」が表示されます。その行を編集して、/32を付けずにDNS名だけを表示し、「save」を押します。次に、Postgresデータベースを手動で起動する手順に従います。